

愛知アクセラレートフィールド®展示報告

2023年度は愛知アクセラレートフィールド®の取り組みを ハイウェイテクノフェア 2023 にて展示！

例年、愛知アクセラレートフィールド®の活動成果を広く周知させていただく場として開催しております『愛知アクセラレートフィールド®活動報告展示会』は、今年度は『ハイウェイテクノフェア 2023』への展示とカタチを変えて公開させていただきました。

ハイウェイテクノフェアは、広く社会へ高速道路事業や高速道路を支える最先端技術を紹介し、理解を深めるとともに、技術開発に携わる企業等には情報交換の機会、あるいは開発技術等に関する広報の機会を提供することで、技術の普及促進を図ることを目的に、平成 16 年から毎年開催されています。

数えて 19 回目となる今回の『ハイウェイテクノフェア 2023』は、「リアル展」と「オンライン展」併用のハイブリッド方式で開催され、東日本高速道路株式会社、中日本高速道路株式会社、西日本高速道路株式会社との共同開催に加え、国土交通省、公益社団法人土木学会、公益社団法人地盤工学会など複数の学会の後援を得て開催されました。

愛知アクセラレートフィールド®ブースは、インフロニア・ホールディングス(株)ブースの一角にて展示物を展示いたしました。

愛知アクセラレートフィールド®ブースでは、『愛知アクセラレートフィールド®の概要説明・スキーム・3つの特長・参加の流れ』、『社会実装技術』および『活動報告会・展示会』についての展示を行い、愛知道路コンセッションや前田建設 ICI 職員による説明を行いました。

リアル開催では、インフロニア・ホールディングス(株)ブースへの来場者は 1329 名の方々にご来場いただき、愛知アクセラレートフィールド®ブースでの説明では、125 名の方に対応させていただきました。多くの方にご来場いただき、盛況のまま閉会となりました。

対応できた方々には様々なご意見・ご質問や応援のお言葉を賜り、誠にありがとうございました。また、対応できなかった方々には、至らなかつたこと申し訳ございませんでした。

愛知アクセラレートフィールド®とは？

愛知アクセラレートフィールド®は、愛知県道路公社が所有し、愛知道路コンセッション(株)が運営している有料道路を実証フィールドとし、オープンイノベーションにより募集した新技術の実証実験を行う取り組みのことです。本取り組みは社会インフラの運営・維持管理上の課題に対し、これを解決する新技術のマッチングを行い、供用環境にある実際のインフラ施設を活用して技術実証を行いながら課題の解決を図るものです。本取り組みは 2018 年 8 月から開始され、2023 年度も実証実験を継続して実施しております。

ハイウェイテクノフェア 2023 での展示内容

ハイウェイテクノフェア2023にて展示した、内容は以下のとおりです。

愛知県有料道路運営等事業における新技術実証のしくみ 愛知アクセラレートフィールド®

愛知アクセラレートフィールドとは？

愛知道路コンセッション側がベンチャー企業や大学などの先進技術保有者に、自社で運営する有料道路のインフラ施設を技術実証フィールドとして無償で提供するしくみです。

「愛知アクセラレートフィールド」の技術実証によって課題を解決することにより、先進技術保有者は新技術の開発を促進し、道路運営者は地域住民のみならず、対してより低廉で良質な道路運営サービスを提供できるようになります。先進技術保有者、地域住民、道路運営者及び所有者、3者それぞれにメリットのあるしくみです。



3つの特長

- 01 実証に活用されている施設を無償で利用して技術実証を行うことができます。
- 02 参加条件を満たせば無償でも利用することができます。
- 03 技術の活用性が確認されたものについては、無償で実証でも活用することができます。

参加の流れ

- エントリー
公式ホームページからエントリーします
- 募集
募集内容についてヒアリングさせていただきます
- 実証計画決定・書類手続き
実証計画決定にご協力いただくなどにも、契約手続きを行います
- 技術実証・結果確認
フィールド実証等を行い、技術を実証します
- 情報発信
ホームページや成果発表会の場で情報発信させていただきます



社会実装技術

技術実証にて高評価を得た技術が、採用(社会実装)されました。

PJレポート名称	実装時期	企業名	適用箇所
車ミリ波レーダによるトラフィックカウンタ	2022年7月	古河電気工業(株)	知多半島道路に設置
橋脚センサーとWEBを利用した法面の通観監視システム	2022年4月	中央開発(株)	知多半島道路および南知多道路の法面に設置
橋梁のLIV点検における適用機種の新規とコストの精査	2022年1月	中日本建設コンサルタント(株) / (株) デンソー	名古屋瀬戸道路の橋梁定期点検に使用
三次元レーザレーダを用いた逆走車・誤入歩行者防止システム	2021年10月	(株) H-E	中部国際空港連絡道路セントレア東に出口に設置



車ミリ波レーダによるトラフィックカウンタ



橋脚センサーとWEBを利用した法面の通観監視システム



橋梁のLIV点検における適用機種の新規とコストの精査



三次元レーザレーダを用いた逆走車・誤入歩行者防止システム



活動報告会・展示会

この取組みが一層活発化することを目的として
活動内容や成果を外部に発信しています。

名称	方式	場所	内容	備考
愛知アクセラレートフィールド®活動報告会2019	講演	名古屋大学	参加企業による技術発表と基調講演	中村光穂氏による基調講演
愛知アクセラレートフィールド®活動報告会展示2020 —Wit&Afterコロナを考慮して—	展示会	Aichi Sky Expo	参加企業によるブース形式による技術展示と技術発表。新型コロナウイルス感染拡大防止技術についても展示	新型コロナウイルス感染拡大防止技術も展示
愛知アクセラレートフィールド®活動報告会展示2021 —新技術で変える道路運用—	Web	公式HP	技術説明動画の公開	新型コロナウイルス感染拡大防止のため展示会からWebに移行
愛知アクセラレートフィールド®活動報告会展示2022	Web	公式HP	技術説明動画の公開	

展示会の状況

FIELD ACTIVITY

愛知県有料道路運営等事業における新技術実証のしくみ 愛知アクセラレイトフィールド®

愛知アクセラレイトフィールドとは？

愛知県道路コンクリートセンターが、トヨタ自動車や大学などの先進技術開発者に、会社で運営する有料道路のコンクリート路面を技術実証フィールドとして提供して開発を促進するしくみです。

「愛知アクセラレイトフィールド」の技術実証によって課題を解決することにより、高度技術開発を促進し、新技術実証を促進し、道路運営者や技術開発者のみなさまに対してより迅速で良質な道路運営サービスを提供できるようになります。先進技術開発者、道路建設、道路運営者及び所有者、3者それぞれにメリットがあります。

3つの特長

- 01 実証フィールドが広く、様々な実験が可能です。
- 02 実証フィールドが広く、様々な実験が可能です。
- 03 実証フィールドが広く、様々な実験が可能です。

参加の流れ

1. 申請書の提出
2. 審査
3. 実証の実施
4. 報告書の提出

社会実装技術

技術実証にて高評価を得た技術が、採用(社会実装)されました。

実証技術	実証期間	実装先	実装箇所
道路用コンクリート舗装	2022年7月	名古屋高速 1号線	名古屋高速 1号線 1号線
道路用コンクリート舗装	2022年7月	名古屋高速 1号線	名古屋高速 1号線 1号線
道路用コンクリート舗装	2022年7月	名古屋高速 1号線	名古屋高速 1号線 1号線

活動報告会・展示会

この取組みが一層活発化することを目的として、活動内容や成果を外部に発信しています。

名称	日付	会場	内容
愛知アクセラレイトフィールド 活動報告会	2022年11月	名古屋高速 1号線	名古屋高速 1号線 1号線
愛知アクセラレイトフィールド 活動報告会	2022年11月	名古屋高速 1号線	名古屋高速 1号線 1号線

前田建設





活動報告会等に関するお問い合わせ

マエダアクセラレートフィールズ事務局

TEL: 0297-85-6606 (受付時間 平日 9:00~17:00 土日祝休み)

Mail: jimukyoku-aaf@jcity.maeda.co.jp
